



HIROMI YOSHIDA

1997-1998 automne-hiver collection

No.4



1967年……。30年という月日が過ぎたコトになる。

パリの仏語学校アリアンス・フランセーズの入り口で或る日、日本の女の子と目が合った……。と同時に「ヒロミさん?」「ユミさん?」といったのを昨日のことに思い出す。私はロミ(彼女の愛称)より5年程前にセツ・モードセミナーを卒業し、若いエネルギーゆえに日本で充分恵まれていた仕事の数々を振りきり、再び1年生になったつもりで渡仏していた。長沢先生から「吉田ヒロミも行くよ」と聞いてはいたが、顔も知らなかったのに……。お互いに一目で解ったのも不思議。その日から持参したお金の節約に2人で暮らす相談を始め、6階エレベーターなしのアパルトマンに落ち着き、隣同士の部屋での生活をはじめた。

ロミは憧れのジヴァンシー社に売り込みに行き、見事合格! あの時ロミの嬉しさに輝く目は忘れられない。

母上にしっかりと教え込まれた裁断、縫製の技術も持ち合わせているのは、女子美で油絵を学び、絵が先行してしまう私にとってはうらやましい限り。この違いも又、親交を深めたのかもかもしれない。

ジヴァンシーに意気揚々と通い始めた翌日の夕方、しょんぼりと帰って来たロミ……。 「どうしたの?」と思わず聞くと「母からもらって大切にしていた指抜きを窓からポンと捨てられたの」という。フランスの指抜きは指の先にはめる型。日本の方法で縫ってはいけないということらしい。さもフランス人らしい意地悪。「これからは辛くことがいっぱいよ……。元気出して」となぐさめるのが精一杯だった。翌日の夕方、「ユミ、ユミ! あったの!」何としょんぼり下を向いて歩いていたら靴の先で蹴ったと云う。

西麻布に戦前からブティックを開いていたロミの母上は、まさに日本の洋装史を生きた方。ロミの一人立ちを、フローアショーを、厳しい目と暖かい微笑みで見守られ、ご自身も最後迄針を持たれ、昨年亡くなられた。私も自立した女の姿勢、服の事など多くを学ばせていただいた。

ロミのパリでの頑張りは、ゼネストの日に、歩けば遠いジヴァンシー社に出勤した暗い冬の早朝を思い出す。私はその頃、高田賢三さんの勤めるフランスのデザイン会社で働いていた。土曜の夜はよく3人でシェ・キャステルという当時流行のクラブで踊り明かし、焼きたてのクロワッサンを食べながら帰ったり……。2人でいかにパリジェンヌ風に着こなすか? と論議したり。服を縫ったり、工夫したり……。貧しい事は少しも苦にならない若さと好奇心に溢れた楽しい日々だった。

パリ、ニューヨークで多くを学んだロミの服はそのカッティングの確かさと、シンプルで着る側に着こなしの余地を残した良さにある。素材の選び方も服のデザインに適し、近頃はパリでも人気上昇中のストレッチ素材も多く使いはじめたのも嬉しい。このストレッチ素材は縫製の善し悪しが一目瞭然。ロミの服ならその点も安心して着られるだろう。

「何気ないけれど、どこか粋でおしゃれ」という一番難しい。そして大人の女の日常の中で活躍する服内面の輝きを一層引ききたる服。そんな服をマイペースで作り続けるロミにパリより声援を送り続けたい。そして好きな仕事を続けられる幸せと、子供たちの成長の喜びも分かち合いながら……。グチを云わず、どんなことが起こっても、鼻の上にシワを寄せ、白い歯を見せニツと笑って「大丈夫」と明るく前向きに生きているロミが好き。

ユミ・シャロー

ファッションデザイナー/イラストレーター

現在は、ファッションアクセサリ^{アクセサリー}「V de B」(株式会社ヴァンドーム ヤマダ)のデザイナー及びコーディネーターとして活躍。パリ在住。

ブリティッシュジュラップンディー

HIROMI YOSHIDA

1997-1998 automne-hiver collection

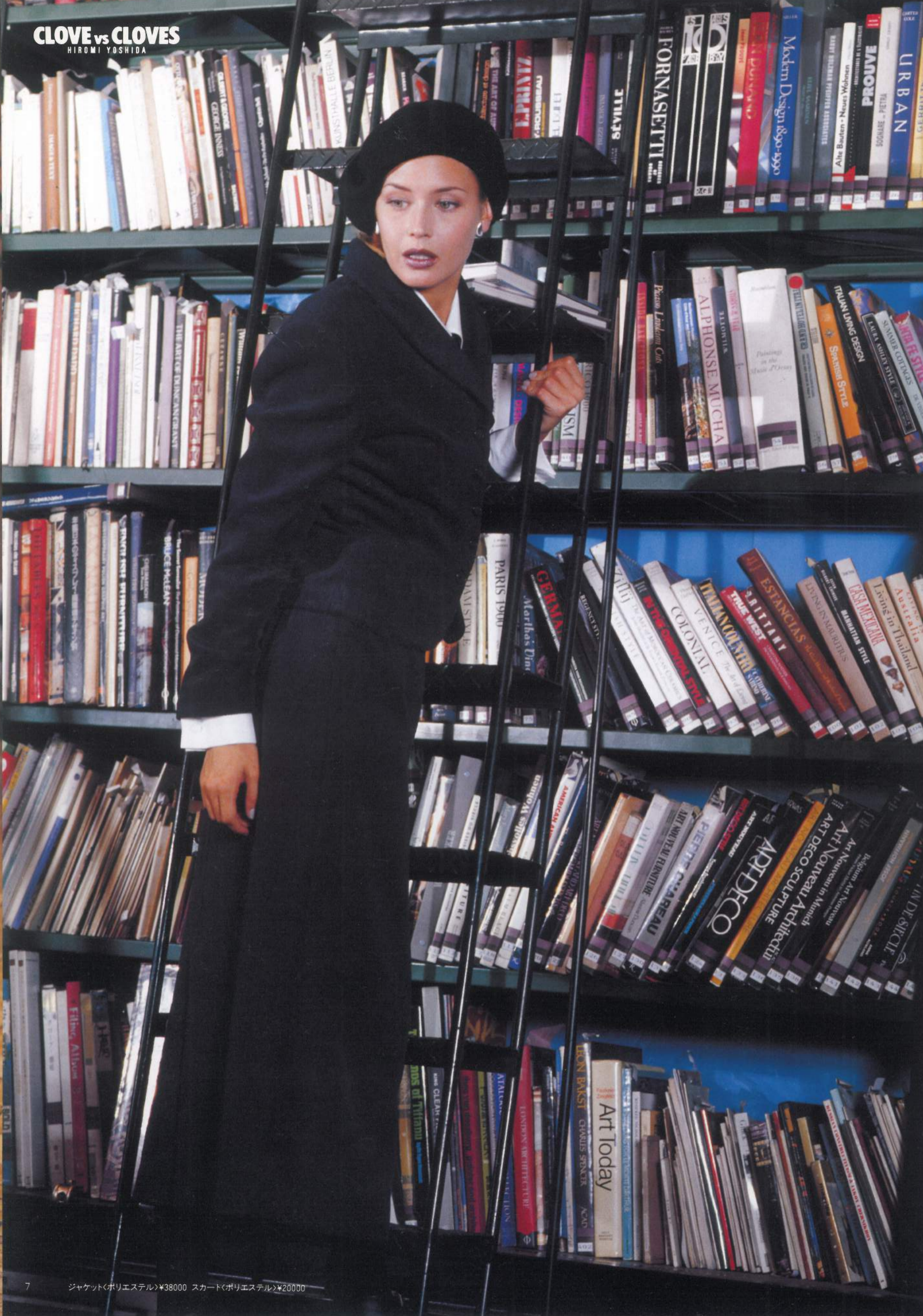










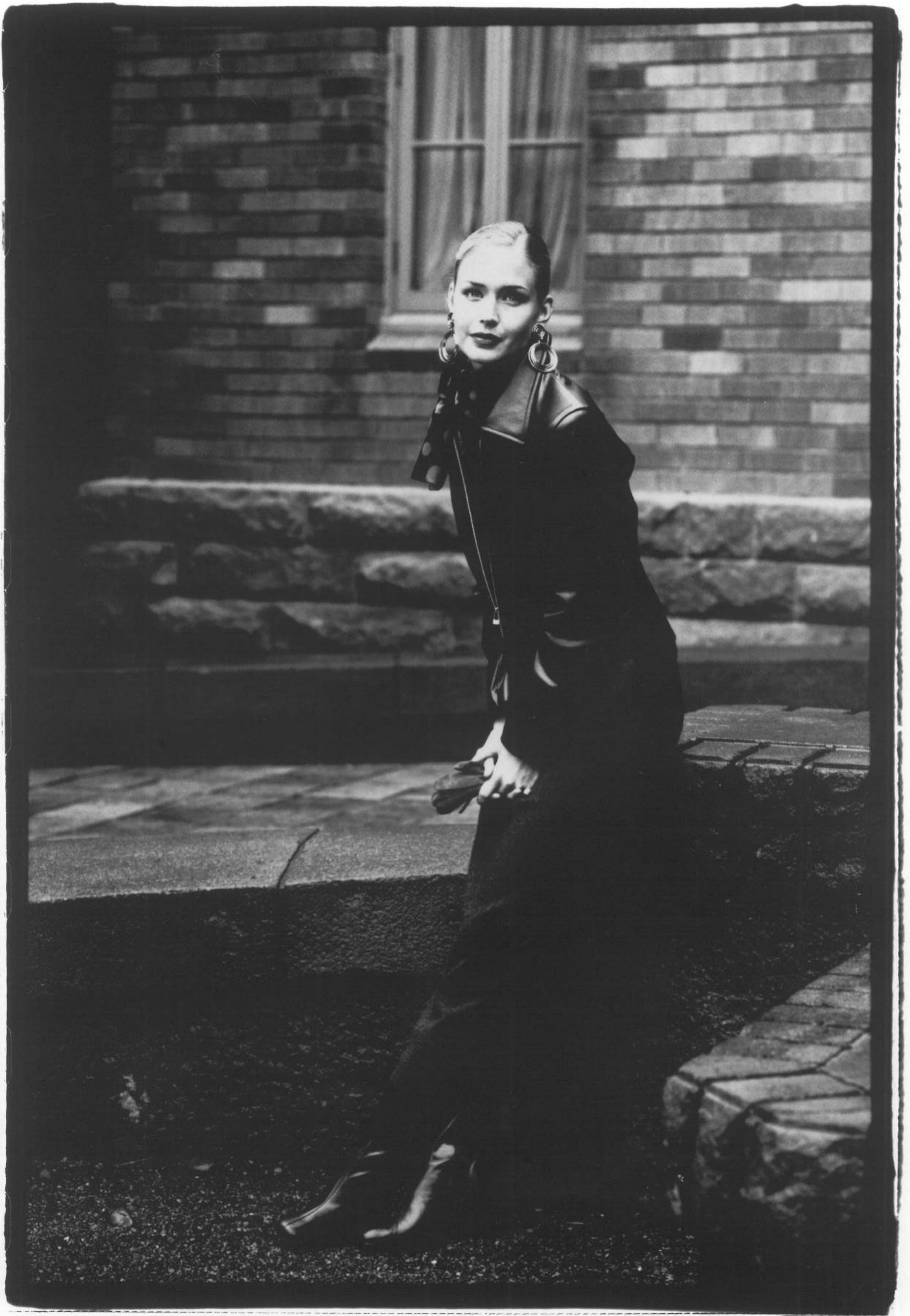














HIROMI YOSHIDA

1997-1998 automne-hiver collection



吉田ヒロミ プロフィール

- 1941年 東京の六本木に生まれる。
- 1960年 高校卒業後、セツモードセミナーにてファッションイラストを学ぶと同時に、母親の経営する「オートクチュールSetsu」にて服づくりの技術修業をする。
- 1964年 セツモードセミナー卒業、渡仏。
日本人として初めてジヴァンシー社に入社。デザイン及び技術を認められ、ジヴァンシー社より7年間有効の労働許可証を取得。アトリエチーフのアシスタントであるセゴンドになり、オーダー・ヘッパーンをはじめV.I.P.顧客の担当となる。
- 1968年 アメリカハーバース・バザー社のスチリストに推薦され渡米。ニューヨークで一年間コーディネート力を養う。
- 1969年 パリのジヴァンシー社には戻らず帰国。
母親の経営する「プティックSetsu」のオートクチュールデザイナーとしてクリエイション活動をはじめめる。
- 1971年 第1回吉田ヒロミオートクチュール春夏コレクション発表。
- 1972年 ブランド「イグレッグ」発表。
- 1978年 T.D.6のメンバーとなり、第14回78〜79秋冬コレクション発表。
- 1980年 株式会社吉田ヒロミデザインインターナショナル設立。
「CLOVE vs CLOVES / クローブ クロース」発表。
- 1986年 東京ファッションデザイナー協議会(C.F.D.)の設立にかかわりメンバーとなる。
- 1989年 社団法人ザ・ファッショングループに入会。委員を務める。
- 1992年 プレタクチュール'92秋冬HIROMI YOSHIDAコレクション発表。
- 1996年 1月、プレタクチュールHIROMI YOSHIDAコレクション、プレタポルテCLOVE vs CLOVESの2ブランドを中心に、企業のユニフォームを含め意欲的にデザイン活動を展開。また、各種ファッションコンテストの審査委員としてファッション界をバックアップしている。
- 1997年 昭和女子大学にて、生活美術科の講師をつとめる。

Yoshida Hiromi

「直営プティック」

ヒロミ ヨシダ西麻布本店

〒106 東京都港区西麻布3-21-22 YHビル TEL:03-3403-0857

クローブ クロース静岡店

〒420 静岡県静岡市伝馬町9-3 芝田ビル1F TEL:054-272-8668

クローブ クロース岡山店

〒700 岡山県岡山市表町3-2-27 TEL:086-234-5142

クローブ クロース高知 バニラボイス店

〒780 高知県高知市追手筋1-9-8 TEL:0888-23-6679

クローブ クロース大分店

〒870 大分県大分市中央町2-1-22 NEXTビル2F TEL:0975-32-0480

クローブ クロース広島店

〒730 広島県広島市中区三川町5-4 TEL:082-249-5710

商品に関するお問合わせは、株式会社吉田ヒロミデザインインターナショナル及び上記のショップにて承ります。

「吉田ヒロミ ライセンス商品」

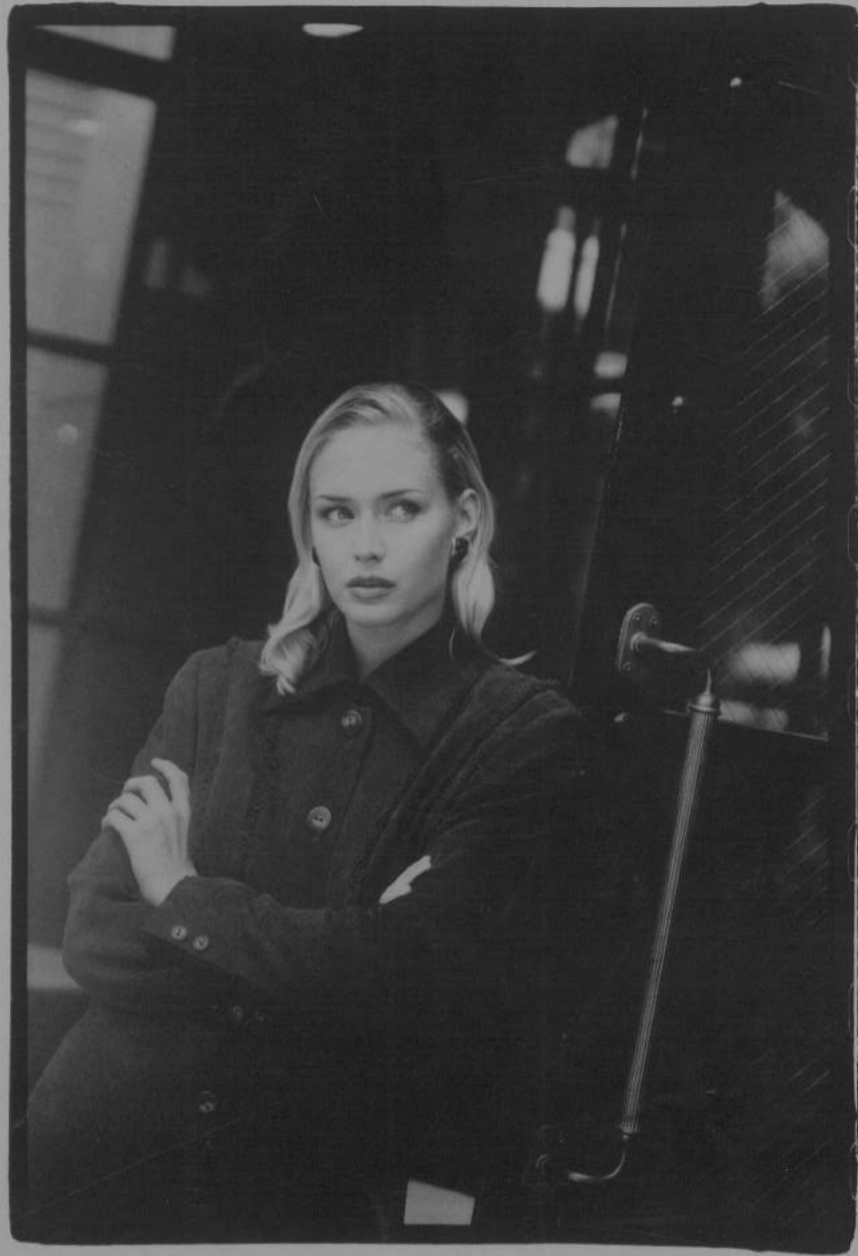
婦人フォーマルウェア：株式会社東京ソワール

紳士ネクタイ：渡正ネクタイ株式会社

婦人ニットカットソー（通信販売）：株式会社フェリシモ

子供服（通信販売）：株式会社フェリシモ

婦人オフィスユニフォーム：セロリー株式会社



HIROMI YOSHIDA

株式会社吉田ヒロミデザインインターナショナル 〒106 東京都港区南麻布4-5-53 TEL.03-3441-2174 FAX.03-3441-2356